

2016年度 環境活動レポート

対象期間：2016年1月1日～2016年12月31日



エコアクション21



発行 2017年 1月 31日



〒651-2228
神戸市西区見津が丘5丁目2-3

TEL 078-998-1650

FAX 078-998-1660

環 境 方 針

株式会社阪神鍍金精工所は、めっき業界の一翼を担う会社として地球環境を経営上の重要問題の一つと認識し、達成すべき環境目標を設定し、地球環境の保全と汚染の予を含めた、継続的改善に努めます。

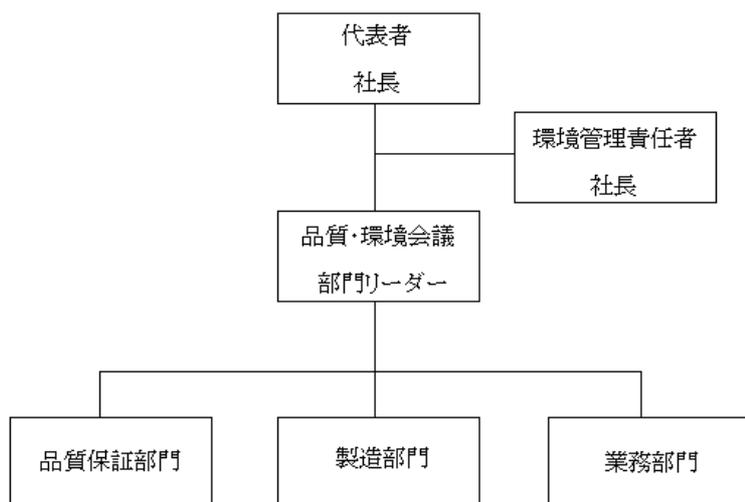
- 1 環境法令、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 2 二酸化炭素排出量削減のため、効率的な運転に努めます。
- 3 廃棄物の発生を抑え、リサイクル化を推進します。
- 4 排水量削減のため、効率的な利用及び節水に努めます。
- 5 薬液の使用、適正管理を行ない化学物質使用量削減に努めます。
- 6 環境に配慮した物品の購入、エネルギー効率を重視した機器の採用、グリーン購入を推進します。
- 7 有害性化学物質の代替え品使用を推進します。
- 8 この方針は、全従業員の教育、訓練により周知徹底するとともに、一般にも環境レポートとして公表します。

制 定 日 2003年 6月 1日
改 定 日 2016年 1月 20日

株式会社 阪神鍍金精工所
社 長 樽 谷 和 廣

実施体制図及び役割・責任・権限

更新日 2016年 1月 20日
(株) 阪神鍍金精工所



承認	作成
	K.Kuretani

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境方針を作成し、環境目標及び環境活動計画の承認 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
品質・環境会議	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・環境に関する内部監査の計画
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□組織の概要

社名	株式会社 阪神鍍金精工所
所在地	本社・工場 兵庫県神戸市西区見津が丘5丁目2番3 TEL.078-998-1650 FAX.078-998-16
設立	1957年 7月
資本金	3,000万円
代表	代表取締役 樽谷 和廣
事業内容	金属電気鍍金加工
事業年度	6月～5月（但し活動レポート対象期間は1月～12月）
従業員数	17人
敷地面積	2,500㎡
環境管理責任者	樽谷 和廣 連絡先：TEL078-998-1650

□環境負荷の実績値

項目	単位	2016年 実績値	備考
二酸化炭素排出量(合計)	Kg-CO2	239,715	
電力		154,472	
都市ガス		67,857	
ガソリン		2,904	
軽油		13,203	
一般廃棄物排出量	Kg	238	
産業廃棄物排出量	Kg	10,370	
総排水量	m ³	6,197	

□環境目標とその実績

[データ記載期間は2016年1月1日～2016年12月31日]

項目	単位	2013年	2016年	2016年	2017年	2018年
		基準年値	目標値	実績値	目標値	目標値
二酸化炭素排出量削減(合計)	Kg-CO2	216,172	214,010	239,715	211,848	209,686
・電力	Kg-CO2	197,094	195,123	154,472	193,152	191,181
・ガス	Kg-CO2	62,629	62,002	67,857	61,376	60,750
・ガソリン	Kg-CO2	1,351	1,337	2,904	1,323	1,310
・軽油	Kg-CO2	16,384	16,220	13,203	16,056	15,892
基準年値比	%	100	99	108	98	97
一般廃棄物排出量削減	Kg	257	254	238	251	249
基準年値比	%	100	99	93	98	97
産業廃棄物排出量削減	Kg	20,879	20,670	10,370	20,461	20,252
基準年値比	%	100	99	50	98	97
排水量削減	m ³	6,078	6,017	6,197	5,956	5,895
基準年値比	%	100	99	102	98	97
化学物質使用量削減(NaCN不使用)	Kg	32,915	32,585	27,210	32,256	31,927
(14年5月～) 基準年値比	%	100	99	83	98	97
グリーン購入(CP・PC用紙)	%	100	100	100	100	100
基準年値比	%	100	100	100	100	100
製品への環境配慮(不良率低減)	%	9.0	8.9	3.2	8.8	8.7
(不良金額/加工金額)	%	100	99	36	98	97
基準年値比	%	100	99	36	98	97

□環境活動計画及び取組結果とその評価

2017年1月20日

取組計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組内容）	
電力による二酸化炭素排出量の削減			
・ 生産工程の時間短縮	◎	継続	他グループの協力体制を敷き、段取り時間の短縮、効率の良い治具の採用により工程時間の短縮ができた。
・ コンプレッサーの圧力を低圧化	◎	継続	1/月のメンテナンスの実施圧力チェック(設備管理表にて管理)している。
・ 事務所・工場の電気(電灯・動 の節電	◎	継続	作業中に必要のない機器の電源は切られていた(昼間は消灯) 屋外灯の点灯時間を短縮した。6時間⇒4時間(6時～9時)
・ LED照明の採用	◎	計画	事務所に続いて食堂・更衣室の蛍光灯をLED蛍光灯に変換した。
・ インバーター機器の採用	◎	計画	天井走行クレーンをインバーターモーターにした。
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
・ 公共交通機関の利用で社用車 の使用削減	○	継続	営業、打合せ等の顧客様訪問時には電車・バスを利用し、今後も 使用削減行っていく。
・ エコドライブ等運転方法の配慮	◎	継続	配送員は空運転・空ふかしはしない、アイドリングストップを心がけていた
・ 更新時には低燃費車を選択	◎	継続	2月にトラックの低燃費車を選択購入した
一般廃棄物の削減			
・ 分別の徹底	○	継続	今期はまずまずの分別は出来た、来期も継続。
・ ごみの圧縮・減量	◎	継続強化	ごみにならない工夫、顧客からの包装紙は納品時再利用若しくは返却。
・ 包装資材の削減	○	継続強化	顧客様と相談をし、通箱を利用し包装資材の削減を図る。
産業廃棄物の削減			
・ 排水処理でのスラッジ削減	◎	継続	排水処理施設のキャパアップの増強工事実施により大幅はスラッジ 排出量削減がむできた。
水道水使用量の削減			
・ 節水シール貼り付け・ポスター掲示	○	継続	工場内手洗い場に節水シール、めっきラインの水道口バルブに流量シール貼付
・ 漏水の定期的チェック	◎	継続	各ラインの設備点検表に漏水チェック項目を追加し日常点検とした。
・ 水洗蛇口の水量監視	○	継続	めっきラインの水道バルブに流量シールを貼付し出し過ぎを防止した。
・ 雨水、放流水の再利用	○	計画	雨水をためるエコ缶の検討をおこない、次年度より計画実行とした

◎ : よくできた △ : あまりできなかった

○ : まあまあできた × : 全くできなかった

□環境活動計画及び取組結果とその評価

2017年1月20日

取組計画	達成状況	評価 (結果と次年度の取組)	
化学物質(溶剤)の使用量削減			
・ 表示の徹底	◎	継続	溶剤名及び使用中・保管中を識別できる表示をした
・ 使用量の適正化	◎	継続	管理指示通りの使用がされていた
・ 代替え物質(溶剤)の利用	計画		
グリーン購入の推進			
・ 有害性の少ない資材の購入	○	検討・継続	都度有害性の少ない資材を購入してきた、今後も検討・継続する
・ 各用紙を再生紙に転換 (コピー用紙・PC用紙名刺・事務用箋)	◎	継続	事務用品、名刺など再生紙を使用したものに転換している。
製品への環境配慮			
・ めっき不良の低減等効率化を図る	◎	継続	社内不良低減のためさまざまな提案・改善により大幅な低減がされた。
・ 再生資源の利用	○	継続	再生資源利用副資材の購入を推進している
・ PRTR物質の削減、代替え	計画		
・ 省エネ機器の採用	計画		

◎ : よくできた △ : あまりできなかった

○ : まあまあできた × : 全くできなかった

□環境関連法規制等の順守状況

実施日：2017年 1月 20日

法規・条例	規制事項	担当部門	届出・点検・測定頻度	判定 (○×)
水質汚濁防止法	特定施設設置の届 排水基準の遵守と測定	排水処理部門	変更時毎 自主2回/1ヶ月 届出1回/6ヶ月	○ ○
下水道法	排水基準の遵守と測定 排水の量・濃度報告	排水処理部門	排水管理報告 2回/1ヶ年	○ ○
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物 マニフェストの運用 廃油・廃酸・めっき汚泥 その他	排水処理部門 製造部門	報告 1回/1ヶ年 特管廃棄物量報告 1回/1ヶ年	○ ○ ○
毒物劇物取締法	毒物劇物取扱責任者選任 業務上取扱者選任 毒劇物の保管に於ける表示 盗難・紛失・流失の防止	業務部門 製造部門	選任時の届出 薬品管理台帳	○ ○ ○ ○
特定化学物質管理法 PRTR法	6価クロム化合物 ニッケル化合物 亜鉛化合物 ・RoHS対応管理 ・MSDSの管理	排水処理部門 製造部門	特定化学物質管理届（届出対象外）	/
大気汚染防止法	量・濃度規制基準遵守と測定 電解排ガス (6価クロム化合物)	製造部門	計量証明書 1回/1ヶ年(保管)	○
消防法	少量危険物貯蔵所の設置	製造部門	設置届	○

環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、法規制の逸脱はありませんでした。
又、近隣住民様からの苦情、関係当局よりの違反等の指摘は過去5年間無く継続しています。
※当社では業務用エヤコン(フロン)は使用していません

□代表者による全体の評価と見直し

2007年の初回認証登録以来10年が経過しました。その間さまざまな問題にぶち当たり本当に
紆余曲折の道のりでした。
しかしながら、全社を挙げての環境への取組みが実を結び永年表彰を頂き、社員全員が「やった」
と云う充実感を味わい今後の励みとなりました。

さて、2016年度はガスの使用量が基準年比8.3%増加となりましたが、その他の環境活動計画・
目標達成状況は大幅にクリアし満足のいくものでした。
この結果を踏まえ、未達成の項目をどの様に改善していくか、品質・環境会議等にて議論し2017年
度に挑戦して頂きたい。

又、2017年度「環境方針」「環境目標」「環境活動計画」は、継続とし変更の必要性はないとします。